

## 吾平 たわわに実ったぶどうを収穫



8月9日から吾平町上名の黒羽子観光農園でぶどう狩りが始まりました。

同園のぶどうは、水はけがよく、果実の栽培に適した赤ボラ土で育てられているため、糖度が高く、酸味が少ないのが特徴。「巨峰」「竜宝」「サニールージュ」の3種類のぶどうがたわわに実っており、多くの人が収穫に訪れています。

当日行われたはさみ入れ式では、いずみ幼稚園児など約20人が参加し、自ら収穫したぶどうを「甘くておいしい」とほおばっていました。

ぶどうがなくなり次第閉園となります。

## 鹿屋 鹿児島県水難救済会 鹿屋市救難所開設



8月6日、鹿屋市漁業協同組合で鹿児島県水難救済会鹿屋市救難所開設式が行われ、漁業関係者や消防団など約50人が出席しました。

この救難所は、水難が起こった場合に、人命及び船舶などの救助活動に迅速に対応できるように、漁業関係者や消防団などで組織されたもの。式では、360人の救難所員の代表を務める山下栄所長が「水難事故が発生した場合に、迅速な救出活動ができるよう関係機関と連携を密にしたい」と決意を述べました。

鹿屋市は永小原から古江まで約19kmの海岸を有しており、今後、同救難所は、水難が起こった際の救助活動に全力で対応することになります。

## 輝北 大隅地区中学新人野球大会を開催



準決勝（垂水中対根占中）



準決勝（百引中対鹿屋東中）



決勝（垂水中対鹿屋東中）

8月4日～8日、第51回大隅地区中学新人野球大会が、輝北町上百引の輝北運動場と百引中第二グラウンドで開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と技術向上を目的に昭和32年から開催されており、50年以上の伝統を誇る大会。台風の影響などで日程の延期もありましたが、猛暑の中、大隅半島全域から参加した32チームが連日熱戦を繰り広げた結果、鹿屋東中学校が見事初優勝を勝ち取りました。

結果は次のとおり。  
優勝 = 鹿屋東中学校  
準優勝 = 垂水中学校  
第3位 = 百引中学校・根占中学校



優勝した鹿屋東中

## 鹿屋 吾平 全国大会・九州大会に出場



8月16日、「全国中学校水泳競技大会男子400mリレー」に出場する第一鹿屋中水泳部が市役所を表敬訪問しました。

同部は、7月に行われた県中学校総合体育大会で優勝し標準記録を突破したことで、全国大会出場の切符を手に入れました。選手たちは「全国大会では、全員がベストタイムを出して決勝に残るのが目標です」と抱負を話してくれました。



全国中学生空手道選手権大会（浦安市）と九州中学校体育大会空手道競技大会（鹿児島市）に出場した吾平中の松元尚武さん、加覧佑樹さん、新原勇磨さん、松元さくらさんが、8月30日、吾平総合支所を表敬訪問しました。

選手たちは「全国大会に出場した経験を大事にして、勉強と空手を頑張りたい」と話してくれました。



8月31日、吾平中3年の北川翔一さんが、沖縄県で開催された「九州中学校陸上競技大会」棒高跳びで優勝し、その報告のため市役所を表敬訪問しました。北川さんが棒高跳びを始めたのは半年前。目標は「年内に県内記録を塗り替えること。そして、将来は、日本人初の6m越えを成し遂げ、オリンピックに出場することです」と話してくれました。

## 鹿屋 農業を肌で感じる



8月17日、市内の農業関係者で組織する雄飛会（福永清巳会長）と市が、子どもたちに農業を肌で感じてもらい、もっと農業に関心を持ってもらおうと夏休み農業体験ツアーを実施しました。

肝属中央家畜市場で子牛のセリを見学したり、さつまいも畑でも掘りを体験するなど、参加した22人は、農業を身近に感じながら、楽しい1日を過ごしました。

## 鹿屋 終戦記念日に 恒久の平和を願う



8月15日、小塚公園で終戦記念日の集いが行われました。

この集いは、戦争の歴史を次代に語り継いで行くことを目的に「鹿屋航空基地史料館連絡協議会」が平成8年から始め、今年で12回目。集いには、旧海軍関係者や市民など約30人が参列。1分間の黙とうを捧げた後、参列者が戦没者の御霊の冥福と恒久平和を願って焼香を行いました。

## 鹿屋 約1,600人が肝属川を清掃



8月5日、肝属川で第25回肝属川クリーン作戦（肝属川クリーン作戦実行委員会主催）が行われました。

彼川町から吾平町馬込橋までの流域約12kmで行われた肝属川の清掃活動には、肝属川をきれいにしようと、周辺の町内会や企業などから約1,600人が参加。1時間ほどかけて、自転車などの粗大ごみをはじめ、空き缶やビニール袋類など、約6トンのごみを回収しました。